

公共の場へのデザイン 三題

The Design of The Public Place

鵜飼昭平

Shohei Ukai

美術館の音楽会のための段ボール・スツール

(メナード美術館と名古屋造形芸術短期大学共催)

第3土曜日の午後3時、その音楽会は美術館の展示室内で開催される。鑑賞者用のイスの相談を受けた時、私は余り迷わなかった。リサイクル指向の段ボールによる組立式で価格・収納問題を解決し、展示室に似合う三角構造の洒落た姿にしてみよう。そして使用客に楽しんで持ち帰ってもらえるようなモノにしよう。

裏養老の村、岐阜県上石津町のための

一の瀬大橋橋欄モニュメント

裏養老のグリーン・バレーの村々を一本につないで貫くのは、牧田川の清流である。バイパス道路建設にともなう、一の瀬大橋にシンボルを依頼された時、バレーのV字形を基本にすることを考えた。山と流れの形を組みこんで、清涼な緑の谷の空気を切り開く姿とした。

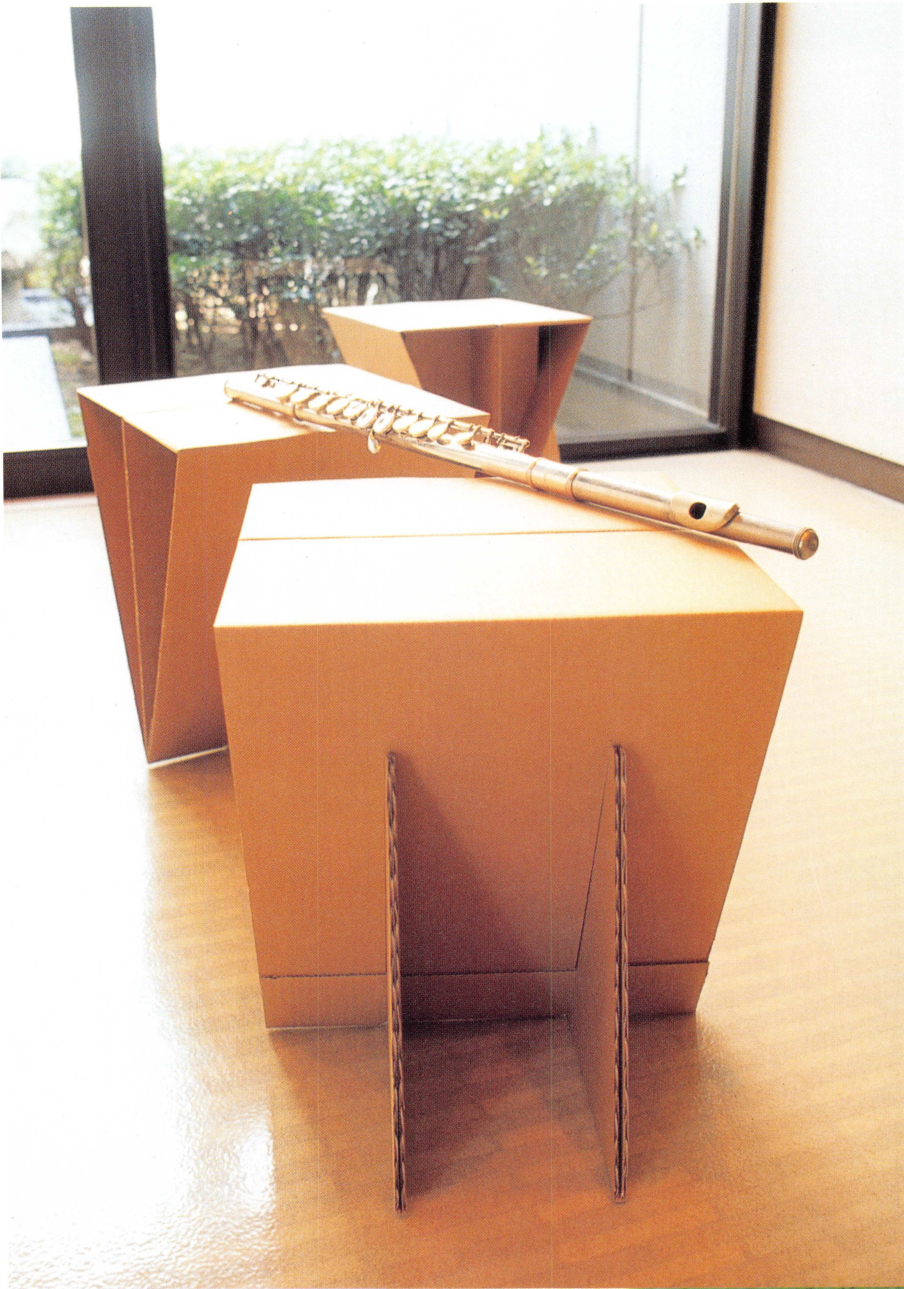
新町舎玄関ホールのシンボル・モニュメント

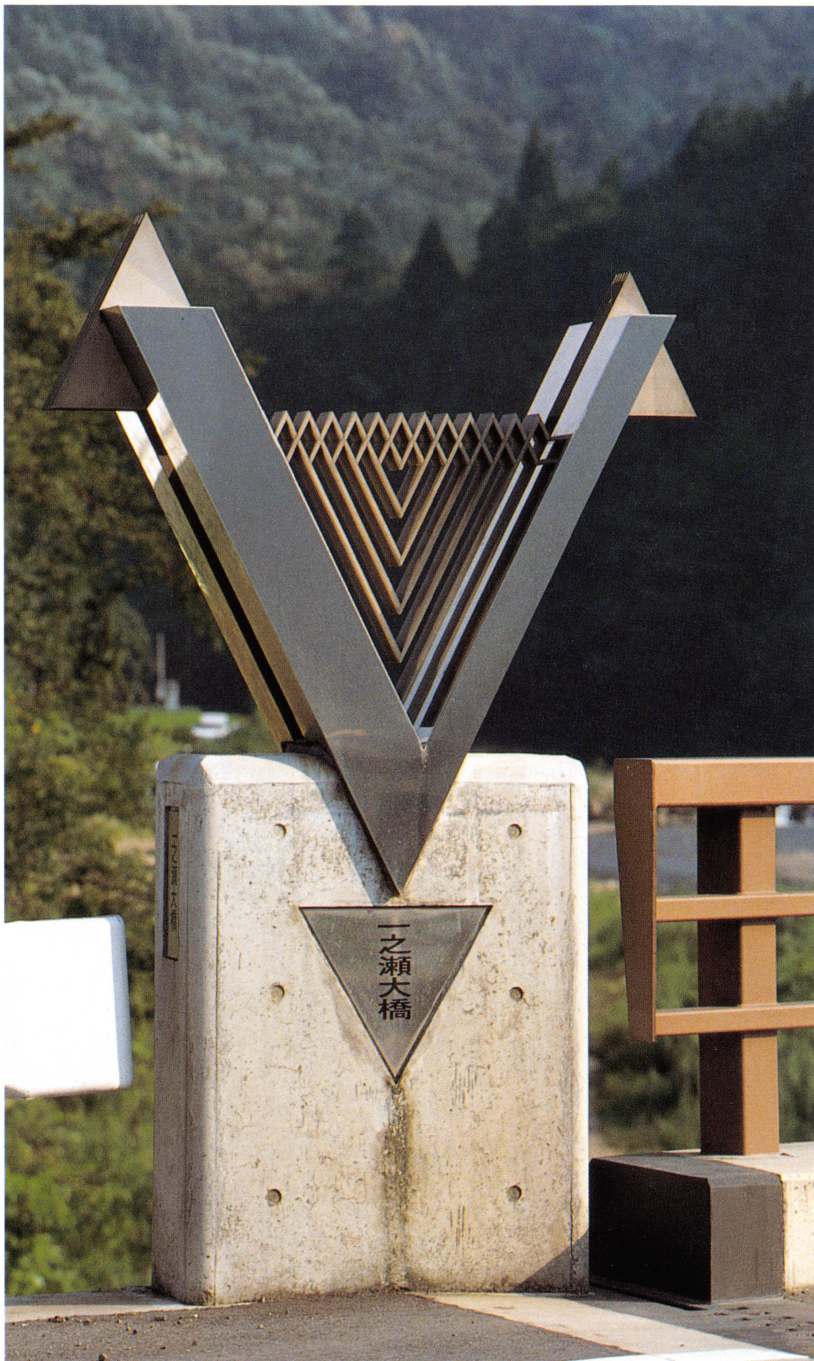
20世紀をめざすシンボルモニュメントを、新町舎玄関ホールに置きたいと桑原前町長から話があった時、新しい活力と再生のイメージを「萌」と提案して快諾を得た。円柱タテ半分を鋭く斜に切った形で芽ばえの姿とし、牧田川の流れを光らせ、山並文様をそえて、上石津の萌えいずる未来を示した。

美術館の音楽会のための
段ボール・スツール

H350 W・D300

— 1993 —



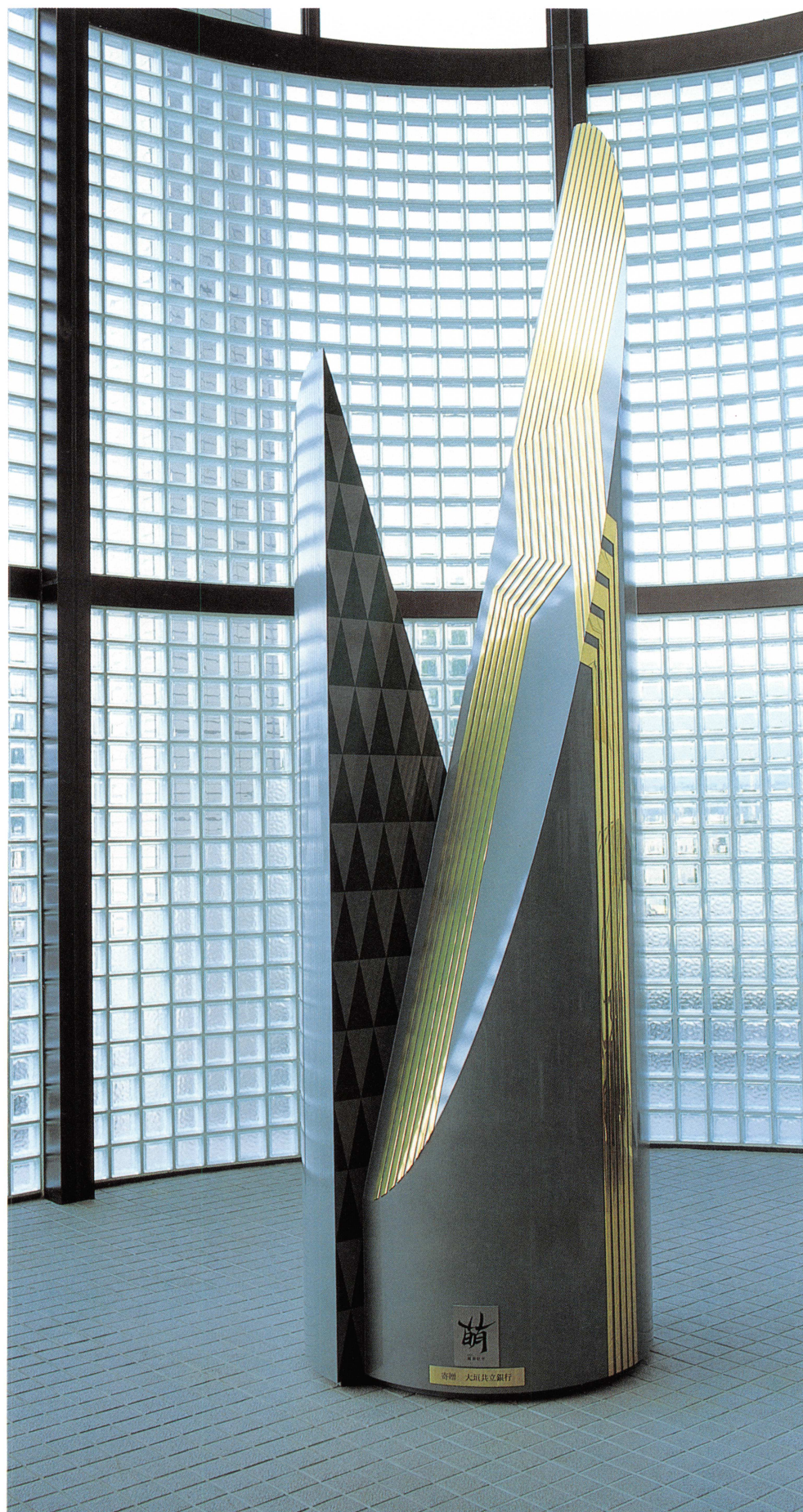


一之瀬大橋橋欄モニュメント

H2000 W1500 D400

— 1992 —

上石津町町舎シンボル・モニュメント



H6000 φ1000
— 1990 —